

ゲスト(パネリスト)

※敬称省略

GUEST(PANELIST)



【映画監督】

■降旗 康男 (ふるはた やすお)

1934年、長野県松本市浅間温泉に生まれる。1957年、東京大学卒、東映株式会社に入社、助監督となる。1966年、『非行少女ヨーコ』で初監督、以後『新網走番外地シリーズ』等“やくざ映画”を東映にて多数監督する。1968年、退社、専属契約の後1974年、フリーとなる。以後『赤いシリーズ(TBS)』等テレビドラマを多数監督する。1978年、『冬の華』(東映)。1981年、『駅STATION』(東宝)。1983年、『居酒屋兆治』(東宝/山口瞳原作)。1989年、『あ・うん』(東宝・向田邦子原作)。1999年、『鉄道員』(東映/浅田次郎原作)。2001年、『ホテル』(東映)。2007年、『憑神』(東映/浅田次郎原作)。2012年、『あなたへ』(東宝)。2013年、『少年H』(東宝)。



■伊藤俊也 (いとう しゅんや)

1937.2.17生。福井市出身。東京大学文学部美学科卒。主な作品に、『女囚さそり』三部作(1972~73)、『誘拐報道』(1982)、『花いちもんめ』(1985)、『風の又三郎 ガラスのmant』(1989)、『プライド 運命の瞬間(とき)』(1998)。また、日本映画監督協会創立70周年記念映画『映画監督って何だ!』(2006)の脚本監督。主なテレビ作品に、『美空ひばり物語』(1989)、『白旗の少女』(1990)。著書に『幻の<スタヂオ通信>へ』(1978れんが書房新社刊)、『偽日本国』(2001小説・幻冬舎刊)、『メイエルホリドな、余りにメイエルホリドな』(2009戯曲・れんが書房新社刊)。受賞歴は、日本映画監督協会新人奨励賞(1972)、モントリオール世界映画祭審査員賞(1982)、日本アカデミー賞最優秀作品賞(1985)、など。2003紫綬褒章受章、『ロストクライム 閃光』(2010)を経て、『始まりも終わりもない』(2013)は全国公開中。



■杉田成道 (すぎた しげみち) 【演出家・脚本家・映画監督】

1943年生まれ、愛知県豊橋市出身。慶應義塾大学卒業後、1967年にフジテレビ入社。1973年『肝っ玉捕物帖』で演出家デビュー。1981年から22年間続いた不朽の名作『北の国から』を演出。この作品は2002年に第50回菊地寛賞を受賞。1990年の『失われた時の流れを』で第27回ギャラクシー大賞、1991年の『1970 ぼくたちの青春』で第18回放送文化基金番組賞を受賞。1998年のドラマスペシャル『町』で第52回芸術祭大賞を受賞。1999年の『少年H』では第54回芸術祭優秀賞を受賞。個人では1992年に芸術選奨文部大臣新人賞、2001年に放送文化基金放送文化賞を受賞。その他、主な演出には連続ドラマ『ライスカレー』(1986)や、スペシャルドラマ『海映を渡るパイオリン』(2004)、『死亡推定時刻』(2006)、『駅路』(2009)などが数ある。舞台演出では、『陽だまりの樹』(1992-1995-1998)、『幕末純情伝』(2003-11再演)など多くを手掛ける。

映画監督作品は『優駿ORACION』(1988)、『ラストソング』(1994)、『最後の忠臣蔵』(2010)。2010年に著書『願わくは、鳩のごとくに』出版。2012年にAKB48『GIVE ME FIVE』のミュージックビデオを演出。2014年に、『ジョバンニの島』の原作・脚本を手掛ける。最新作は、フジテレビ開局55周年記念ドラマ『若者たち2014』を演出。現在、社団法人日本映画テレビプロデューサー協会会長、株式会社フジテレビジョン エグゼクティブ・ディレクター、日本映画衛星放送(株) 代表取締役社長。



■油谷誠至 (あぶらたに せいじ)

1954年、広島県竹原市に生まれる。龍谷大学法学部中退、東放学園放送芸術科卒。1976年よりフリーの助監督としてTV・映画で多くの監督に師事。とくに影響を受けた監督は五社英雄、松尾昭典、実相寺昭雄、深町幸男監督。助監督として参加した映画作品は、『雲霧仁左衛門』(五社英雄監督)、『人形嫌い』(日高武治監督)、『雨が好き』(高橋洋子監督)、『泪橋』(黒木和雄監督)、『RONIN』(河合義隆監督)、『オディブスの刃』(成島東一郎監督)、『帝都物語』(実相寺昭雄監督)チーフ助監督、『優駿』(杉田成道監督)

1988年より、総合ビジョンに於いて演出契約、主に深町幸男監督のTV作品を手がけ、1989.山田太一脚本 ANB連続ドラマ『夢に見た日々』で初監督、以後主にTVドラマを撮っている。監督作品は、映画では、『飛べタコタ』(2013年)。テレビでは、月曜ドラマスペシャル500回記念ドラマ『雨に眠れ』、月ミス『丹後浦島伝説殺人事件』、月ミス『十津川警部シリーズ36.39.41』、火サス『救急指定病院』①~⑥、火サス『救命救急センター』①~④(斉藤由貴、佐野史郎、多岐川裕美ほか)、土曜ワイド『ドクVSデカ』①②、連続ドラマ『警視庁捜査1課9係』、『警視庁捜査1課9係(Season2)』のほか、NHK・BS『時代劇を100倍楽しむ法』・『向田邦子・言葉の花束』や医療ビデオなど多数。



■西村喜廣 (にしむら よしひろ)

1967年生まれ。東京都出身。特殊造型・特殊メイクアップアーティストであり監督。1995年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭オフシアター部門で自主映画『限界人口係数』が審査員特別賞を受賞。その後、数々の映画・ドラマで特殊造型を担当。劇場監督デビュー作『東京残酷警察』(2008)は世界のファンタスティック系映画祭で絶大な人気のカルト作。最近では、『進撃の巨人』特殊造型プロデューサー、『忍者虎影』監督のほか、アメリカ製作『ABCs Of Death』やカナダ製作『Profane Exhibit』など、国際的な活動を展開中。ホラー・スプラッター・アクション・コメディなどあらゆるジャンルを凝縮した独自の世界観で新進気鋭の監督・鬼才として世界中から注目を浴びている。



■井口 昇 (いぐち のぼる)

1969年東京出身。2007年『TOKYO SHOCK』シリーズ第一弾『片腕マシガール』が国内外でカルト的な人気を博し、数々の国際映画祭に出品し、30カ国以上で公開。ポップな世界観にシリアスな心理描写を織り込む事に定評がある。2008年公開の『ロボゲイシャ』では間違った日本感とポプなゲイシャのコメディが評価され、国内外で大きな反響を呼ぶ。一方で劇団『大人計画』に所属、松尾スズキ、竹中直人、庵野秀明作品に個性派俳優として舞台や映画・TVに出演している。近年は中川翔子の漫画原作、『週刊真木よう子』の脚本、エイベックス制作『音女』、前田敦子主演『菜と紙魚子の怪奇事件簿』、『加藤清四郎』『新耳袋』『ざい』などのテレビドラマ演出も手掛ける。テレビでは『ケータイ刑事』『古代少女ドグちゃん』などのチーフ監督を務め、アイドルものが得意。近年は、中川翔子の漫画原作、『ザ50回転ズ』の音楽ショートムービーを演出した。大ヒット映画『電人ザボーガー』(2011年)を筆頭に、ホラー映画の『富江アンリミテッド』・『新耳袋 異形』(2012年)ゾンビ映画の『ゾンビアス』(2012年)を制作し続けている。『デッド寿司』(2012年)は、海外の多くの国際映画祭の招待を受け、主演の武田梨奈は、テキサスファンタスティックフェストでコメディ主演女優賞を受賞し、寿司旋風を巻き起している。中川翔子主演、大槻ケンヂ原作の『ヌイグルマーZ』も控えている。



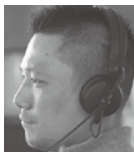
■内田英治 (うちだ えいじ)

1971年ブラジル・リオデジャネイロ生まれ。週刊プレイボーイにて10年間のライター活動の後、ドラマ『教習所物語』(TBS)で脚本家デビューを経て、2004年に映画『ガチャポン』で監督デビュー。2007年『地球でたったふたり』ではハンブルグ国際映画祭、フランスKNOTAYO国際映画祭、山形国際映画祭、英国アカデミー映画祭など多くの映画祭で上映され高い評価を得る。2011年には山本直樹のカルト的な伝説漫画『世界最後の日々』を映画化し、同年夏のニューヨーク・アジア映画祭で上映される。2014年には、映画『メタルカ』が5月に公開。さらに、『グレイトルフルデッド』が10箇所以上での上映が決定し、さらにはイギリスでの配給が決まるなど注目を集めている。主な作品には、『ガチャポン』(2004)、『しあわせなら手をたたこう』(2005)、『TOPLESS』(2007)、『地球でたったふたり』(2007)、『僕らの方程式』(2008)、『世界最後の日々』(2012)、『メタルカ-METALCA』(2014)、『あり得ない!』(2010/TV)、『ブラック・エンジェルズ』(2011/OV)、『悪夢のドライブ』(2012/TV)がある。



■本田隆一 (ほんだ りゅういち)

1974年神奈川県生まれ。大阪芸術大学映像学科卒業後、日本大学 大学院芸術学研究科に入学し映像芸術を専攻。卒業制作として監督した16ミリ長編『東京ハレンチ天国・さよならのブルース』が、2001年ゆうばり国際ファンタスティック映画祭オフシアター部門でグランプリを受賞。トリノ国際映画祭、ブチオンファンタスティック映画祭等、海外の映画祭にも招待され、同年暮れに中野武蔵野ホールでロードショー公開された後、全国5カ所で劇場公開された。2002年、佐藤佐吉脚本の『セクシードリンク大作戦・神様のくれた酒』で、商業映画を初監督。以後、劇場用映画、オリジナルビデオ、テレビドラマなど、ジャンルにとらわれず作品を撮り続け、ナンセンスかつシュールだが娯楽味溢れる独自の世界を展開中。最近の主な監督作として『G S ワンダーランド』(2008)『市民ポリス69』(2011)『大木家のたのしい旅行・新婚地獄篇』(2011)など。TVドラマでは『怨み屋本舗Reboot』(2009)、『傍聴マニア09』(2011)『恋愛交渉人・ゴタ消し』(2011)『デカ黒川鈴木』(2012)、『ハクノ子王さま』(2013)などを演出している。



■ベ・テス/BAE TAESU (べ てす)

1972年・韓国生まれ。清洲大学演劇映画学科卒業。1999年に渡日し、大阪芸術大学大学院で映画を学ぶ。2003年自主映画『GONG』で長編映画デビュー。ストックホルム国際映画祭、ブチオン国際映画祭公式招待。2005年には『Memories』で山形国際ムービーフェスティバルのグランプリを受賞。以後『UTOPIA』、『Boiler』、『20年』、『Trouble Traveller』等の映画を次々と発表。現在、鳥取県をバックにした時代劇を日韓合作で準備中。



■水真真希 (みずい まき) 【女優・映画監督】

十代で園子温に師事し、西村喜廣の下で映像制作を学ぶ。映画『奇妙なサーカス』『片腕マシガール』などに現場スタッフとして携わる一方、幽霊役で映画初出演。現在は主に女優として活動している。DMM.comグラビアアイドル部門年間ダウンロードランキング第1位。主演映画『終わらない青』『イチジクコバチ』『マリア狂騒曲』『ら』で監督デビュー。

